



一刻を争った救助活動



消火活動の様子



西宮市災害対策本部の様子



消防団員らによる倒壊家屋からの救出活動

救援作業・市民の助け合い・ 各地からの支援

阪神・淡路大震災は、私たちが人々のつながりやコミュニティの重要性について、あらためて見つめ直す機会となりました。



ヘリポートとなった中央運動公園



各地から寄せられた救援物資



市役所前の自衛隊の様子



他自治体からの応援



救援物資の運び込み



炊き出し活動

災害応急対策のために西宮市災害対策本部が設置されました。市内の各所で起きた倒壊現場からの救出、けがを負った人の病院への搬送、火災を食い止める消火活動、崖崩れで生き埋めになった人の救出に全力であたりました。

救助活動は一刻を争い、消防、警察、自衛隊による懸命な対応が行われる中、災害直後に大きな力を発揮したのは、自発的に動いた住民の力でした。

倒壊した家屋に生き埋めとなった隣人の救出、火災に対しても各町の消防団、住民が消火器やバケツリレーで初期消火にあたり大規模な延焼を免れた場面もありました。

また、自衛隊をはじめ全国各地の自治体から応援の人々が駆けつけ、それぞれの専門技術を活かして救援と復旧作業に力を貸してくれました。そして、全国から飲料水、食料、毛布、衣類、カセットコンロなどの多くの救援物資も寄せられました。

阪神・淡路大震災では数多くのボランティアから支援を受けました。救援物資の仕分け、配布を始め、避難所でのお世話、医薬品・日用品・食料の配布など、ボランティアの方々が被災者の生活を支える活動は、私たちにあらためて人と人の絆の大切さを教えてくれました。

復興への取組み

震災では多くの市民が住宅に被害を受けたことから、住宅確保の対策が早急に行われました。また、市街地再開発等の復興事業により、安全で安心して暮らせる災害に強いまちづくりの取組みが進められました。



避難所となった学校の様子



仮設住宅航空写真（中央運動公園 陸上競技場・野球場）



市内各所で仮設住宅が建てられました

【住宅の確保・再建支援】

震災直後から避難所への避難が始まり、学校や公民館など合わせて最大194箇所の避難所に約4万5千人が避難しました。

被災された方の住宅を早急に確保するため、震災の2日後から、公園や野球場、学校のグラウンド、民有の空き地に応急仮設住宅の建設が始まりました。市内には105箇所に計4,901戸が

建てられ、市外にも他府県・市の協力で仮設住宅が用意されました。

また、一日も早い応急仮設住宅の解消を目指して住宅復興3カ年計画が策定され、震災によって失われた大量の住宅を回復するために、災害復興公営住宅等の建設が行われました。

【西宮北口駅北東地区】

都市基盤となる道路整備や、商業施設・図書館等の施設・住宅が入るアクタ西宮が建設されました



アクタ西宮



アクタ西宮から北東のまちなみ

【森具地区】



広い道路で囲まれた防災拠点街区が形成され、地区の中央には防災公園が整備されました

【市街地再開発・土地区画整理】

震災の被害は湾岸部の香櫨園から甲東園、段上地区と帯状に伸びており、中でも壊滅的打撃を受けたのは、駅の周辺に形成された市街地でした。

震災の被害が集中しており、地区全体としての安全性の確保が必要な地区を重点面整備事業地区として、土地区画整理や市街地再開発等の事業により整備を図りました。

震災復興にかかる各事業は、震災から10年までにはほぼ完了していましたが、重点面整備事業の1つである「西宮北口駅北東地区」や重点街路の整備である「山手幹線」といった一部の事業については、平成16年度以降の事業完了となりました。

〔重点面整備事業地区〕

地区名	施行年度
森具地区	H6～13
西宮北口駅北東地区	H6～20
阪神西宮駅南地区	H9～15
JR西宮駅北地区	H7～13

震災から10年以降に完了した復興事業【事業費】

(単位：千円)

(単位：千円)

西宮北口駅北東震災復興土地区画整理事業	年度	事業費	事業費			
			国庫支出金	県支出金	起債	その他
H7	13,599,202	6,179,400	0	7,415,600	0	4,202
H8	9,996,301	4,986,600	0	4,990,400	0	19,301
H9	2,525,290	1,175,100	0	1,251,700	71,379	27,111
H10	5,332,742	2,383,800	0	2,482,900	330,000	136,042
H11	4,439,935	1,987,100	0	2,012,700	309,000	131,135
H12	2,185,286	820,900	0	910,000	300,000	154,386
H13	1,540,362	580,100	0	642,800	240,000	77,462
H14	1,063,735	324,500	0	438,400	270,000	30,835
H15	1,083,202	423,530	0	565,100	81,000	13,572
H16	535,064	227,550	0	292,000	0	15,514
H17	409,283	162,045	0	237,900	0	9,338
H18	271,486	96,660	0	166,000	0	8,826
H19	206,651	80,775	0	101,900	0	23,976
H20	75,192	22,440	0	39,600	0	13,152
計	43,263,731	19,450,500	0	21,547,000	1,601,379	664,852

山手幹線	年度	事業費	事業費			
			国庫支出金	県支出金	起債	その他
H7	6,442,657	3,110,500	0	3,093,800	12,052	226,305
H8	7,335,217	3,460,811	0	3,460,600	0	413,806
H9	3,291,227	1,455,789	0	1,455,700	0	379,738
H10	2,912,681	1,239,500	0	1,015,100	0	658,081
H11	2,820,560	1,196,500	0	1,213,800	34,143	376,117
H12	1,472,708	569,000	0	307,300	8,453	587,955
H13	562,809	237,500	0	158,600	6,385	160,324
H14	660,591	317,000	0	299,400	0	44,191
H15	599,970	286,400	0	194,000	0	119,570
H16	164,645	70,300	0	70,300	0	24,045
H17	582,457	279,040	0	282,600	3,400	17,417
H18	608,042	306,410	0	274,700	3,800	23,132
H19	480,414	218,150	0	222,900	3,763	35,601
計	27,933,978	12,746,900	0	12,048,800	71,996	3,066,282

(震災後の事業費)